

第12回・歴史的建築物研究会

民芸を訪ねる美術館めぐり

3月の歴史的建築物研究会は趣向を変えて、美術館巡りです。昨年濱田庄司を記念する益子参考館の被災支援のために益子焼の展示即売会を開催しました。それを機会に濱田庄司展や河井寛次郎の記念館および民芸運動に縁のある美術展を貸切バスで回ります。各館では学芸員の案内を受けながら見学する予定です。

春の一日土のにおいのする器を見て楽しみましょう。

月日 2013年3月23日(土)

- 集合 午前8時45分 阪急西宮北口駅南 兵庫県立芸術文化センター北側
あるいは午前9時30分 東洋陶磁美術館入口
(アクセスは裏面をご覧ください)
- 行程 (全行程大型貸切バスにて移動) 西宮北口
大阪市立東洋陶磁美術館(「人間国宝濱田庄司展」)
大阪日本民芸館(「藍と白の美～そばちょこ・藍染めを中心に」)
昼食 大山崎山荘美術館(民芸運動に縁のある美術館)
河井寛次郎記念館 西宮北口
- 解散 午後5時 河井寛次郎記念館にて一次解散(最寄駅・京阪電車「清水五条」)
あるいはJR京都駅
午後6時半ごろ 西宮北口駅にて二次解散
- 参加費 会員6,500円 一般7,500円(入館料、バス代込み、昼食代は別途各自負担)
- 昼食 レストラン・タガミにてランチ(1490円、前菜、パスタ、デザート、飲み物)
- 定員 30名
- 締切 定員に達し次第締め切ります

*お申し込みの際に集合場所(西宮北口あるいは東洋陶磁美術館)と昼食の要不要をお知らせください。

大阪市立東洋陶磁美術館・・安宅コレクションを擁する美術館。

大阪日本民芸館・・民芸運動の西の拠点として万国博記念公園に建てられた。初代館長は濱田庄司。

大山崎山荘美術館・・1929年(昭和4年)築 実業家加賀正太郎が別荘として自ら設計。新館は安藤忠雄設計。河井寛次郎、濱田庄司などと親交のあった実業家山本為三郎のコレクションが中核となっている。

河井寛次郎記念館・・1937年(昭和12年)築。河井寛次郎自身の設計による住まい兼仕事場。陶芸にかぎらず寛次郎の作品がさりげなく並んでいる。



河井寛次郎記念館

特定非営利活動法人 アメニティ2000協会
事務局 芦屋市潮見町5-8-3 清水
TEL・FAX0797-35-2181 携帯080-3138-4164
Email soshisha@f6.dion.ne.jp
URL <http://homepage3.nifty.com/amenity2000/>

集 合 場 所 案 内

阪急西宮北口駅 南 集合場所

阪急電車神戸線 西宮北口駅下車 南改札口を出て正面の階段またはエスカレーターで地上へ降りる。ロータリーの右側を進み、信号をわたらずに、右へ曲がったところで集合。兵庫県立芸術文化センターの北側になります。

東洋陶磁美術館

地下鉄御堂筋線、京阪電車 淀屋橋駅 下車 1番出口より約400メートル
京阪電車中之島線 なにわ橋駅 下車 1番出口よりすぐ

